

科目名	日本語・日本文化論	英文表記	Japanese and Japanese Cultural Theory				2010年 3月12日 作成
教員名	澤井 万七美、滝 雅士						
対象学科	専攻科	学年	1	必・選	選択	履修・学修	学修
						単位数	2
						授業形態	講義
						授業期間	半期
目 標	1 日本語の構造・特徴についての理解を深める。 2 日本文化についての理解を深める。 3 科学・技術者として必要な言語運用能力を身につける。						
高 専 目 標	1	2	3	4	JABEE プログラム名称	全プログラム	
				◎	JABEE プログラム教育目標		
授業概要、 方針、 履修上の注意	1 日本古典文学作品の分析により、日本文化の理解とプレゼンテーション力を身につけさせる。 2 博物館見学を通じて、観察・考察の結果を適切に報告する能力を身につけさせる。 3 文化と社会の関わりに関する理解を深めさせる。						
評 価 方 法	(1) 1～10：①博物館見学レポート10点(1200字以上)、②レジュメ30点、③プレゼン40点、④『おもろさうし』研究レポート20点(1200字以上) ※①～④の1つでも欠けたら0点とする。 (2) 11～15：作品分析レポート・日本文化に関するレポートによる評価 ※総合評価は、(1)(2)(満点=各100点)を合計し、2で割った得点とする。						
教科書・教材	教員の自主編成教材						
参 考 図 書	外間守善『おもろさうし』(岩波文庫)、外間守善・波照間永吉『定本おもろさうし』(角川書店)、『沖縄古語大辞典』(角川書店)、高橋俊三『おもろさうしの動詞の研究』・『おもろさうしの国語学的研究』(武蔵野書院)ほか。						

### 授 業 計 画

授 業 項 目	時 間	授 業 内 容	
1. ガイダンス	2	授業の進め方等について説明する。さらにPBLのグループ分けを行う。	
2. 『おもろさうし』の概観	2	『おもろさうし』の概観を講義する。	
3. 『おもろさうし』の研究手法	2	『おもろさうし』の研究発表(PBL形式)に向け、研究方法について講義する。	
4. 沖縄の民俗文化の理解1—『おもろさうし』読解のために	2	沖縄県立博物館にて尚家本『おもろさうし』や沖縄民俗文化関連の展示物の見学を行う(公用車以外の交通費および入場料等自己負担)。	
5. 沖縄の民俗文化の理解2—『おもろさうし』読解のために	2	沖縄県立博物館にて尚家本『おもろさうし』や沖縄民俗文化関連の展示物の見学を行う(公用車以外の交通費および入場料等自己負担)。	
6. 沖縄の民俗文化の理解3—『おもろさうし』読解のために	2	見学した内容をレポートにまとめる。	
7. 『おもろさうし』の研究1	2	『おもろさうし』の研究発表(PBL形式)の準備をする。	
8. 『おもろさうし』の研究2	2	『おもろさうし』の研究発表(PBL形式)の準備をする。	
9. 『おもろさうし』の研究発表1	2	各グループによる『おもろさうし』の研究発表(PBL形式)を実施する。	
10. 『おもろさうし』の研究発表2	2	各グループによる『おもろさうし』の研究発表(PBL形式)を実施する。	
11. 日本文化の諸相	2	日本文化の諸相を概観する。	
12. 文化をめぐる諸問題(1)	2	現代日本における文化と経済・行政の問題について検討する。	
13. 文化をめぐる諸問題(2)	2		
14. 文化をめぐる諸問題(3)	2		
15. まとめ	2	今後の日本の文化戦略について考察する。	
学習時間合計	30	実時間	25

学修単位における自学自習時間の保証レポート頻度など)

単元ごとにレポート・課題作成、PBL形式による発表資料作成